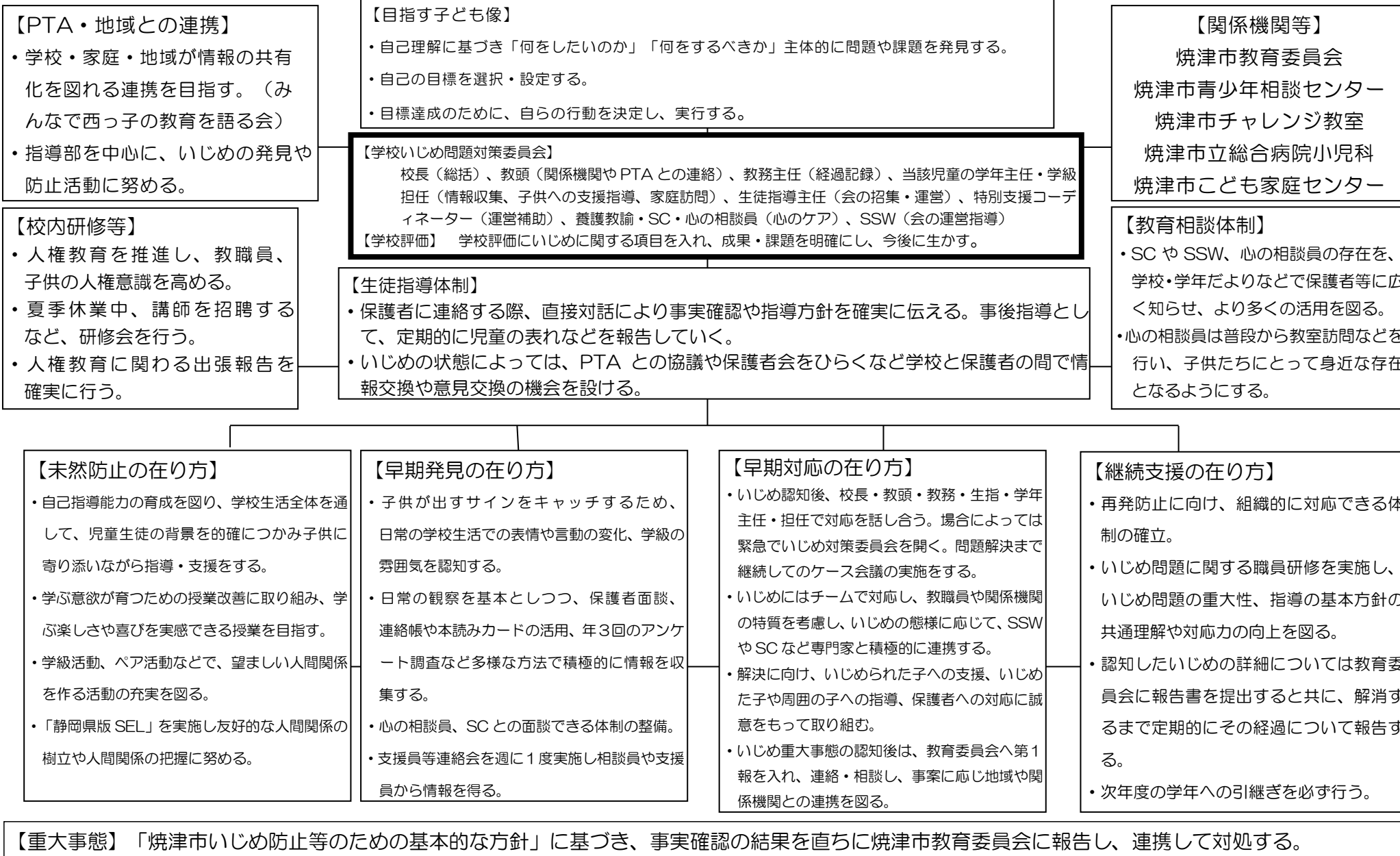


令和8年度 焼津市立大井川西小学校いじめ防止基本方針



令和8年度 いじめ防止年間計画

月	①組織・連携・研修・評価等	②未然防止	③早期発見・対応と継続的支援
4	<p>【P】職員会議にて学校の基本方針の確認、校内組織での役割分担確認。</p> <p>【D】特別支援連絡会において各学級でのいじめ防止について情報交換。</p> <p>【P】職員会議等でいじめ防止対策基本方針の組織や日程などを伝える。</p> <p>【D】保護者に心の教育相談員とSCの存在を知らせる。</p>	<p>【D】いじめを許さないための学級活動を実施し、いじめは絶対に許さないという意識を高める。</p> <p>【D】日々の学校生活の中で児童理解に努める。</p> <p>【D】懇談会やたよりなどでいじめ防止を啓発する。</p> <p>【D】日々の行動を観察したり「静岡県版 SEL」を活用したりして、支援を必要とする児童を把握する。</p>	<p>【D】問題があれば学年主任等に相談・報告・連絡する体制の確立。いじめ対策委員会を招集し、早期対応を図る。</p>
5	<p>【D】児童理解研修会の実施により児童理解を深める。</p> <p>【A】「静岡県版 SEL」第1時を行う。</p>		<p>【D】日頃の学校生活の中で、いじめがないか全職員で注視していく。</p>
6	<p>【C】学校生活アンケート①を実施し学級の実態を捉えるなど、今後の指導に生かす。</p> <p>【A】「静岡県版 SEL」第2時を行う。</p>	<p>【D】学校生活アンケート1の結果により学級の実態を捉え、支援が必要な児童を把握する。</p>	<p>【D】日々の行動観察やアンケートの内容によって、保護者への連絡・面談など家庭と学校との連携を図り、児童を支援していく。全職員でその児童たちを見届けていく。</p>
7	<p>【A】生活アンケート①などを元に、学年、活動部などで情報交換、内容によってはいじめ対策委員会にて検討する。</p> <p>【D】休業前の事前生活指導。</p>	<p>【D】休業前の事前生活指導。</p>	<p>【D】長期休業を前に、アンケート結果や日頃の学校生活のなかで注意すべき児童など支援・指導を行う。</p>
8	<p>【D】生徒指導研修などでSC等外部講師を招聘し、いじめ防止に向けて教職員同士の共通理解をはかりいじめ防止に努める。</p>	<p>【D】未然防止のためのスキルを身につけ学級経営に反映させていく。</p>	<p>【D】未然防止のためのスキルを夏休み明けの学級経営に反映できるように準備していく。</p>
9	<p>【D】夏季休業後の児童の様子など学校生活の児童の実態を把握する。</p>	<p>【D】長期休業後各学級、学年にて取り組みの見直しなどを行う。</p>	<p>【D】長期休業後各学級、いじめはなかったかなどでいじめの聞き取りにより実態を把握し、いじめの事前防止に努める。</p>

10	<p>【C】 学校生活アンケート②を実施し学級の実態を捉えるなど、今後の指導に生かす。</p> <p>【A】 前期の取り組みの反省と後期に向けての修正。</p> <p>【D】 保護者に心の教育相談員と SC の存在を再度知らせる。</p> <p>【A】 「静岡県版 SEL」 第3時を行う。</p>	<p>【D】 学校生活アンケート②の結果により学級の実態を捉え、支援が必要な児童を把握する。</p>	<p>【D】 アンケートの内容によっては保護者への連絡・面談など家庭と学校との連携を図り、児童を支援していくなど、全職員でその児童たちを見届けていく。</p>
11	<p>【A】 生活アンケート②などを元に、学年、活動部などで情報交換、内容によってはいじめ対策委員会にて検討する。</p>	<p>【D】 日々の行動観察を継続し、支援を必要とする児童への支援を充実させる。</p>	<p>【D】 アンケート結果や日頃の学校生活のなかで注意すべき児童など支援・指導を行う。</p>
12	<p>【D】 冬休み前の事前生活指導。</p> <p>【A】 学校評価で年間の取り組みをふりかえる。</p>	<p>【D】 休業前の事前生活指導心の相談室や SC など児童や保護者が相談しやすい態勢を強化。</p>	<p>【D】 長期休業を前に、アンケート結果や日頃の学校生活のなかで注意すべき児童など支援・指導を行う。</p>
1	<p>【D】 冬季休業後の児童の様子など学校生活の児童の実態を把握する。</p> <p>【A】 「静岡県版 SEL」 第4時を行う。</p>	<p>【C】 長期休業後各学級、学年にて取り組みの見直しなどを行う。</p>	<p>【D】 長期休業後各学級、いじめはなかったかなどでいいない聞き取りにより実態を把握し、いじめの事前防止につとめる。</p>
2	<p>【C】 学校生活アンケート③を実施し学級の実態を捉えるなど、来年度の指導に生かす。</p>	<p>【D】 学校生活アンケート③の結果により学級の実態を捉え、支援が必要な児童を把握する。</p>	<p>【D】 アンケートの内容によっては保護者への連絡・面談など家庭と学校との連携を図り、児童を支援していくなど、全職員でその児童たちを見届けていく。</p>
3	<p>【A】 今年度の反省と次年度への対策などを考え後期の取り組みの反省と新年度に向けての修正をする。</p>	<p>【D】 該当児童への支援のあり方など次年度への引き継ぎを確実に行う。</p>	<p>【D】 いじめにおける被害者、加害者へのケア、記録作成など次年度への引き継ぎを確実にを行う。</p>